

登録No. S-040
 登録名 Cetuximab単独療法
 催吐性リスク 最小度
 適応疾患 結腸・直腸癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	マレイン酸カルシウム デキサメタゾン 生食	5mg/body 6.6mg/body 50mL/body		d1	d.i.v	30min	デキサメタゾンはイフェーゾリアクシオンなければ減量・中止可。
Rp.2	セツキシマブ 生食	初回400mg/m ² 2回目以降250mg/m ² 250mL/body		d1	d.i.v	120min (400mg/m ² 時) 60min (250mg/m ² 時)	前投薬後30分時間を置く (生食ロック)
Rp.3	生食	100mL/body		d1	d.i.v.	60min	セツキシマブ 投与後観察目的

1クールの間 1週間

その他 (副作用・PS規定等)

セツキシマブ初回投与は400mg/m²を120分で投与、2回目以降は250mg/m²を60分で投与
 副作用 ①イフェーゾリアクシオン Grade3以上は中止。再投与禁。

Grade1~2は投与速度を緩める。緩めた後再度出現時も投与禁。

②Grade3以上の皮膚症状時は用量調節 (250→200→150)

③他に間質性肺炎、低Mg血症、心毒性、消化器障害、血栓、塞栓、創傷治癒遅延、角膜障害など。